

パーキロン7ORT



1. 一般名 無溶剤型エポキシ樹脂クリヤー塗料
2. 規格 社内規格
3. 特長
(1) セルフレベリングによる平滑な塗面が得られレジンテーブル製作や鋳型の流し込み作業に適しています。
(2) 無溶剤型でシンナー等を含んでいませんので収縮がなく、安全に作業ができます。
(3) 木材への付着性に優れており、クリヤータイプなので色調も自由に調合できます。

4. 性状

項目	内容
容姿	2液性
荷姿	—
季節型	なし
色相	クリヤー
比重	1.07±0.1
粘度(23°C)	600±100 mPa·s
不揮発分(23°C×7日後)	99%以上
乾燥時間	5時間(23°C)
引火点	SDS参照
発火点	SDS参照
爆発限界(下限~上限)	SDS参照

上記性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 施工基準

項目	内容
混合割合(重量比)	主剤7:硬化剤3
可使時間	20分(300g/23°C)
洗浄シンナー	BOシンナーE(エポキシ樹脂用シンナー)
施工方法	流し込み
最大流し込み量	厚み10~15mm※
施工間隔	5時間~3日以内(23°C)

※最大流し込み量は気温により変動します。

6. 性能

試験項目	試験方法	結果
耐衝撃性	1/2" * 500g * 50cm	合格
硬度	ショアー硬度D	70以上
	鉛筆硬度	2B以上
圧縮強度	JIS K 7181	9.0 MPa以上
曲げ強度	JIS K 7171	2.0 MPa以上

付着力	ブルオフ法 (アドヒージョン)	スギ	母材破壊
	ウォールナット合板	母材破壊	
防汚性能	70%エタノール	異常なし	
	70%IPA	異常なし	
	0.5%次亜塩素酸ナトリウム	軽度の艶引け	
	油性マジック	異常なし	
	クレヨン(赤)	異常なし	
	醤油	異常なし	
	サラダ油	異常なし	

※各試験は23°C×7日養生後実施

7. 施工上の注意

- 施工面の油分やゴミ・埃などの付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な状態にする。
混合比を間違うと十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合攪拌する際は、気泡を巻き込まないようにできるだけゆっくり攪拌すること。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使いきること。また、高温環境下や一度に多くの量を混合すると発熱温度が高くなり、煙が発生したり可使時間が極端に短くなります。はじめて使用される際は、少量で試していただいてからご使用ください。
- 施工間隔が長くなると接着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。
- ご採用にあたっては用途や目的に合わせて十分にご評価を行ってからご使用ください。